

休止の異動願(届)

独立行政法人日本学生支援機構理事長 殿

下記のとおり願出(届出)いたします。

誓約書の機構送付(学校記入項目。送付済の場合は。誓約書を送付していない場合、本願(届)を作成できません。)

学 校 名		届 出 年 月 日	20	年	月	日
学 部・学 科 (課 程・研 究 科)		生 年 月 日		年	月	日
		学 籍 番 号				
		学 年				年
奨学生番号(給付奨学金)		フリガナ				
0		氏 名				

貸与奨学金及び2020年度以降の給付奨学金(新制度)の「異動願(届)」は様式が異なります。別途作成してください。

以下、該当する休止の種類及び異動事由(病気、経済事情等)をで選択。

太枠は必須。

※振込超過がある場合は、休止処理ができないため、返戻が必要。

記入者 <input type="checkbox"/> 【休止(通常の休学)】	
奨学生	<input type="checkbox"/> 病気 <input type="checkbox"/> 一身上 <input type="checkbox"/> 経済事情 <input type="checkbox"/> その他
学校	休学日※ 20 年 月 日

※振込超過がある場合は、休止処理ができないため返戻が必要。

<input type="checkbox"/> 【休止(留学)】	
【留学情報】 学校記入欄。該当するものを <input checked="" type="checkbox"/> で選択する。	
国名	
留学時の身分※1	<input type="checkbox"/> 休学 <input type="checkbox"/> 留学 <input type="checkbox"/> 在学
上記で選択した身分の期間※2	1. 20 年 月 日 ~ 20 年 月 日 (2. 20 年 月 日 ~ 20 年 月 日)
国費情報(ある場合のみ) ※3	<input type="checkbox"/> 海外留学支援制度 <input type="checkbox"/> 官民協働海外留学支援制度 受給期間: 20 年 月 ~ 20 年 月
留学奨学金継続願提出	<input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無
第二種奨学金(短期留学)申請	<input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無

※1 通常はいずれか1つにを付ける。留学中に複数の身分が存在する場合はを付けず、内に時系列順に1又は2の番号を付ける。「記入例」参照。

※2 通常は1に「留学時の身分」欄でを付けた期間を記入する。「休学」を選択した場合は休学期間、「留学」を選択した場合は「留学」の身分に異動する期間を記入し、実際に渡航する期間は記入しない。「在学」を選択した場合は学校で把握する留学期間を記入する。「留学時の身分」欄にでなく1又は2の番号を付けた場合は、番号と対応する期間を本欄の1.及び2.に記入する。「記入例」参照。

※3 この2つ以外は「私費」として取扱い、記入不要。

【注意】2019年度給付奨学金の採用者より、給付奨学金と海外留学支援制度との併給は認められないことになりました。

2019年度給付奨学金の採用者が、海外留学支援制度を受給する場合は、給付奨学金を「休止(留学)」とする手続きが必要です。

記入者 <input type="checkbox"/> 【休止(長期欠席)】	
学校	長期欠席
	休止開始年月 20 年 月

記入者 <input type="checkbox"/> 【休止(長期履修学生の給付先送り)】(奨学生の自署が必要)	
奨学生	給付先送り※ 中断希望年月 20 年 月 分から
学校	卒業期 20 年 月 (見込) ※貸与奨学金を受けている場合は、貸与奨学金も同時に「休止」とする必要があります。

以下、学校記入欄

振込超過及びスカラAC入力日

振込超過 <input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無	20 年 月 ~ 20 年 月
スカラAC「振込保留」入力日	20 年 月 日
スカラAC「異動」入力日※	20 年 月 日

※振込超過がある場合は異動の入力を行わず、「振込金受取書」のコピーとともに「休止の異動願(届)」を本機構に送付してください。組戻しを依頼した場合も入力せず送付してください。

(機構使用欄)

最終振込年月	20 年 月	振込超過 <input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無	20 年 月 ~ 20 年 月
要返戻金額	円	異動始期	20 年 月

上記記載のとおり相違ないことを証明いたします。

(学校の証明) 20 年 月 日

学校名

関係課長(※)

電話番号(担当者名)	学校番号	区分
- - ()

※証明者は課長相当職以上の方としてください。

ご記入いただいた情報及びあなたの奨学金に関する情報は、機構の奨学金支給業務及び奨学金貸与業務(返還業務を含む)のために利用されます。この利用目的の適正な範囲内において、当該情報(奨学金の返還状況に関する情報を含む)が、学校、金融機関、文部科学省及び業務委託先に必要に応じて提供されますが、その他の目的には利用されません。また、行政機関及び公益法人等から奨学金の重複受給の防止等のために照会があった場合は、適正な範囲内においてあなたの情報が提供されます。

提出先	郵送の要否	スカラAC入力
異動・補導係	不要	必要

「休止の異動願(届)」の記入・入力上の注意点(学校担当者向け)

「休止の異動願(届)」の記入上の注意点

1. 異動種別ごとの入力・送付の要否、学校による代筆の可否は下表をご確認ください。なお、異動種別ごとの「異動始期」(奨学金の受領資格を失う年月)については、別紙「**休止の異動願(届)の記入例**」における各種別の「**注意点**」をご確認ください。

異動種別	入力要否	送付要否	代筆可否
休止(通常の休学, 長期欠席, 留学)	必要	不要(学校保管)	可
休止(貸与先送り)	必要	不要(学校保管)	不可

2. 「休止の異動願(届)」下部の学校証明年月日、学校名、関係課長名は必ず記入してください。

3. 「休止の異動願(届)」右下に学校担当者名、電話番号、学校番号(学校校舎区分)を記入してください。

4. 振込超過の有無を確認してください。**振込超過がある場合は、スカラACから異動の入力を行うことができません。** 返戻の手続きを指導してください。

「休止の異動願(届)」の入力上の注意点

1. 異動の入力前には、必ずスカラACから「**振込保留**」の入力を行い、「休止の異動願(届)」左下の「スカラAC入力日『振込保留』」欄を記入してください。入力からおおむね15分経過後、必ず「**異動願(届)処理結果確認**」画面で処理結果を確認してください。

2. 「休止の異動願(届)」の記載内容を確認し、「スカラAC『異動』入力日」欄を除く学校記入欄を記入後、スカラACから異動の入力を行ってください。入力が可能な日については、学校担当者向け奨学金事務担当者ページの「スケジュール」に掲載しています。なお、**スカラACからの異動入力には以下の規則がありますので、必ずご確認ください。**

(1) 振込保留の入力規則

振込保留は、入力を行う月の翌月以降の振込みを止めるものです。

例：2021年8月の「学校入力限度日」までに振込保留の入力を行うと、2021年9月以降の振込みが止まる。
2021年10月以降の振込みを止めたい場合は、2021年9月になってから、2021年9月の「学校入力限度日」までに振込保留の入力を行う必要がある。

「学校入力限度日」経過後に振込みを止める必要が生じた場合は、振込保留では対応できないため、「**組戻し**」の手続きを行う必要があります。

(2) 異動入力前の学種状態が「奨学金振込中」又は「保留中」の際の入力規則

異動始期として設定できるのは、最後に振込みのあった月の翌月のみです。

最後に振込みのあった月は、スカラAC「奨学生一覧」の「前回振込年月」から確認できます。ただし、「組戻し」を行った場合の「前回振込年月」は、実際に最後に振込みのあった月と一致しません。

例：最後に振込みのあった月が2021年9月の場合、設定できる異動始期は2021年10月のみ。
・2021年10月1日付休学の場合は、異動始期が2021年10月であるため、問題なく「休止」の入力を行うことが可能。
・2021年9月1日付休学の場合は、異動始期が2021年9月であるため、そのとおりに入力すると、「異動願(届)処理結果確認」画面に「振込超過となる異動始期です」というエラーが表示される。
⇒2021年9月の振込超過金を返戻させ、「振込金受取書」のコピーと「休止の異動願(届)」を異動・補導係まで送付。
スカラACからの入力は不要。

(3) 異動入力前の学種状態が「休止中」の際の入力規則

選択できる異動種別は「退学」「辞退(短縮卒業・修了)」「死亡」「廃止」「停止」の5種類です。

なお、「休止中」の状態では「振込保留」はできませんが、「停止」の入力を行うことができます。

給付終了に係る異動の入力については、「給付終了の異動願(届)及び認定報告」の入力上の注意点を参照してください。

3. スカラACからの異動入力後、「休止の異動願(届)」左下の「スカラAC『異動』入力日」欄を記入してください。また、入力からおおむね15分経過後に、必ず「異動願(届)処理結果確認」画面で処理結果を確認してください。エラーが出ている場合は前記2.の入力規則を確認のうえ、再度入力を行うか、入力が不可能な場合は「休止の異動願(届)」を異動・補導係まで送付してください。

「休止の異動願(届)」の記入例

誓約書の機構送付 (学校記入項目。送付済の場合は。誓約書を送付していない場合、本願(届)を作成できません。)

記入者	<input checked="" type="checkbox"/> 【休止(通常の休学)】	
奨学生	<input checked="" type="checkbox"/> 病気 <input type="checkbox"/> 一身上 <input type="checkbox"/> 経済事情 <input type="checkbox"/> その他	
学校	休学日※ 2021年10月1日	
	※振込超過がある場合は、休止処理ができないため返戻が必要。	

● 休止 (通常の休学) の注意点

- ・異動始期は休学日の翌月 (月の初日はその月)。上記例の異動始期は2021年10月。2021年10月2日の場合は2021年11月。
- ・「休止」から2年以内に「復活」の見込がない場合は「辞退」の指導が必要。

<input checked="" type="checkbox"/> 【休止(留学)】	
【留学情報】 学校記入欄。該当するものを <input checked="" type="checkbox"/> で選択する。	
国名	アメリカ合衆国
留学時の身分※1	<input checked="" type="checkbox"/> 休学 <input type="checkbox"/> 留学 <input type="checkbox"/> 在学
上記で選択した身分の期間※2	1. 2021年10月1日～2022年9月30日 (2. 20年 月 日～20年 月 日)
国費情報 (ある場合のみ) ※3	<input checked="" type="checkbox"/> 海外留学支援制度 <input type="checkbox"/> 官民協働海外留学支援制度 受給期間: 2021年10月～2022年9月
留学奨学金継続願提出	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無
第二種奨学金(短期留学)申請	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無

※1 通常はいずれか1つにを付ける。留学中に複数の身分が存在する場合はを付けず、内に時系列順に1又は2の番号を付ける。「記入例」参照。

※2 通常は1に「留学時の身分」欄でを付けた期間を記入する。「休学」を選択した場合は休学期間、「留学」を選択した場合は「留学」の身分に異動する期間を記入し、実際に渡航する期間は記入しない。「在学」を選択した場合は学校で把握する留学期間を記入する。「留学時の身分」欄にでなく1又は2の番号を付けた場合は、番号と対応する期間を本欄の1.及び2.に記入する。「記入例」参照。

※3 この2つ以外は「私費」として取扱い、記入不要。

【注意】2019年度給付奨学金の採用者より、給付奨学金と海外留学支援制度との併給は認められないことになりました。2019年度給付奨学金の採用者が、海外留学支援制度を受給する場合は、給付奨学金を「休止(留学)」する手続きが必要です。

● 休止 (留学) の注意点

- ・異動始期は留学時の身分により異なる。
休学: 休学日の翌月 (月の初日はその月)
留学: 留学の身分に異動する日の翌月 (月の初日はその月)
在学: 学校で把握する留学開始日の翌月 (月の初日はその月)

・「休止(留学)」から2年以内に「復活」の見込みがない場合「辞退」の指導が必要。

・【留学情報】欄は学校でもれなく記入。

・海外留学支援制度又は官民協働海外留学支援制度の支給を受ける場合は、「国費情報」欄に該当する経費にを付け、受給期間を記入。

・2018年度以前給付奨学金採用者で、3か月未満の留学の場合、また、海外留学支援制度又は官民協働海外留学支援制度の支給を受ける期間は「休止(留学)」処理不要。ただし、奨学生本人の希望により「休止(留学)」とすることも可能。

・2019年度以降給付奨学金採用者で、海外留学支援制度の支給を受ける期間は「休止(留学)」処理必要。

・「留学時の身分」欄は、通常はいずれか1つにを付け、その身分の期間を「上記で選択した身分の期間」欄の1に記入する(上図参照)。多くの場合、留学時の身分は1種類であり、渡航期間はその身分の期間に収まるが、1つの留学のなかに複数の身分が存在する場合は、該当する身分の内に時系列順に1又は2の番号を付け、その番号に対応する「上記で選択した身分の期間」を記入する。

記入者	<input checked="" type="checkbox"/> 【休止(長期欠席)】	
学校	長期欠席	休止開始年月 2021年10月

● 休止 (長期欠席) の注意点

- ・異動始期は最終振込年月 (学校が長期欠席を把握した月) の翌月。上記例の異動始期は2021年10月。
- ・「休止」から2年以内に「復活」の見込がない場合は「辞退」の指導が必要。

<input checked="" type="checkbox"/> 【休止(長期履修学生の給付先送り)】(奨学生の自署が必要)		
奨学生	貸与・給付先送り※ ※貸与奨学金を受けている場合は、貸与奨学金も同時に「休止」とする必要があります。	中断希望年月 2021年4月分から
学校		卒業期 2025年3月 (見込)

● 休止 (長期履修学生の給付先送り) の注意点

- ・奨学生本人の自署が必要。
- ・異動始期は奨学生本人が希望する任意の年月。
- ・給付奨学金と併せて貸与奨学金も受けている場合、片方のみの「休止」は原則として不可。
- ・「休止」から2年以内に「復活」の見込がない場合は「辞退」の指導が必要。
- ・「休止」時点で長期履修課程の卒業期を確認。

(例: 複数の身分が存在する場合の書き方)

<input checked="" type="checkbox"/> 【留学情報】 学校記入欄。該当するものを <input checked="" type="checkbox"/> で選択する。	
国名	アメリカ合衆国
留学時の身分※1	<input checked="" type="checkbox"/> 2 休学 <input type="checkbox"/> 留学 <input checked="" type="checkbox"/> 1 在学
上記で選択した身分の期間※2	1. 2021年8月15日～2021年9月30日 (2. 2021年10月1日～2022年9月30日)

↑ 休学前に在学の身分で渡航し、学校がそれを留学と認めて「休止(留学)」とする場合はこのように記入する(「休止(留学)」の異動始期は2021年9月)。一方、留学が休学後に始まる場合は身分「休学」をで選択し、「上記で選択した身分の期間」欄の1に休学期間のみを記入する(上図に同じ。「休止(留学)」の異動始期は2021年10月)。